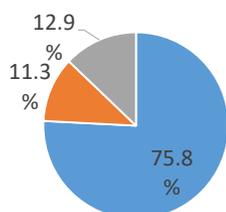


板橋区コミュニティ・スクールに係る アンケート調査《地域コーディネーター回答用》 まとめ

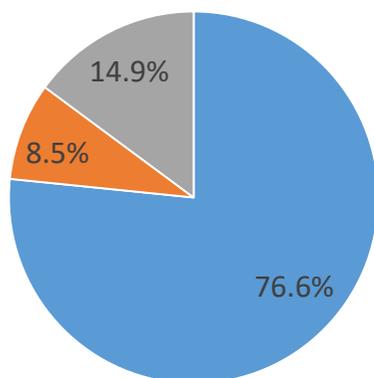
令和6年度

Q1 地域コーディネーターとしての活動の時間数は、総合的に見て適切だと思いますか。

令和5年度



令和6年度



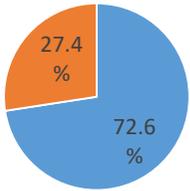
■ 適切 ■ 多い ■ 少ない

活動時間数が「適切である」とする地域コーディネーターは約76.6%であった。

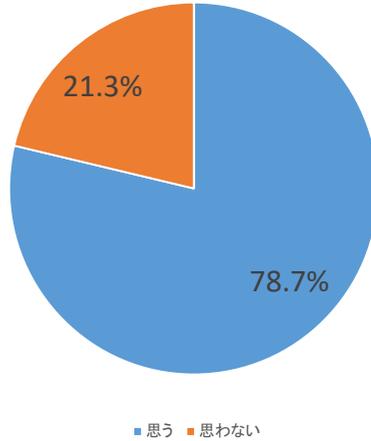
「少ない」と答えた割合が増えたことから、学校のためにもっと活動がしたいと考える委員が多いことが推測される。

Q2 支援活動実施前に学校との打ち合わせは十分に行えていますか。

令和5年度



令和6年度



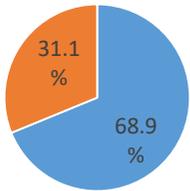
学校との打ち合わせが十分であると思う地域コーディネーターは、約78.7%と昨年度より約6%増加した。

一方、学校が何を求めているか分からないと考えている地域コーディネーターも少なくないため、十分に打合せを行う必要がある。

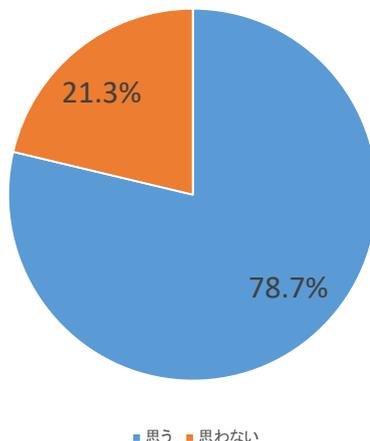
3

Q3 支援活動実施前にボランティアとの打ち合わせは十分に行えていますか。

令和5年度



令和6年度



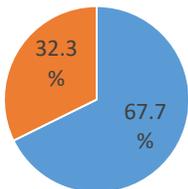
ボランティアとの打ち合わせが十分であるとする地域コーディネーターは、約78.7%と昨年度より約10%増加した。

ボランティアの募集、連携について各校工夫をしながら活動している。

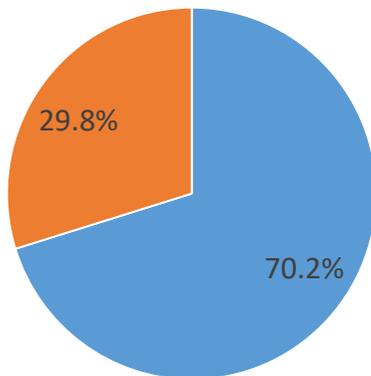
4

Q4 他の団体(おやじの会、PTA、寺子屋、町会、企業等)と連携ができていますか。

令和5年度



令和6年度



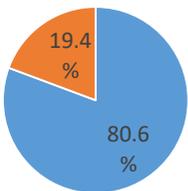
■ 思う ■ 思わない

他の団体と連携ができているとする地域コーディネーターは約70.2%おり、定期的に他の団体と情報交換を行っているとする回答が多い一方で、他団体がどのような活動をしているか分からないなどの意見もあった。

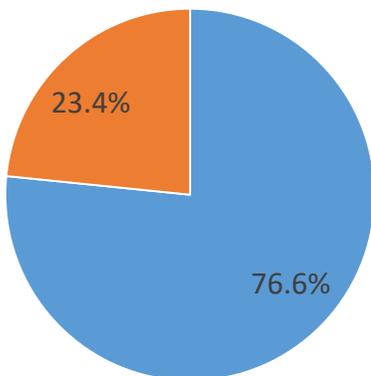
5

Q5 活動をするにあたって、課題と感じていることはありますか。

令和5年度



令和6年度



■ ある ■ ない

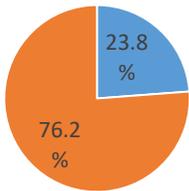
約76.6%の地域コーディネーターが課題を感じていると回答した。

ボランティア等の人材発掘、学校とのコミュニケーション不足について課題を抱えている地域コーディネーターが多くみられた。

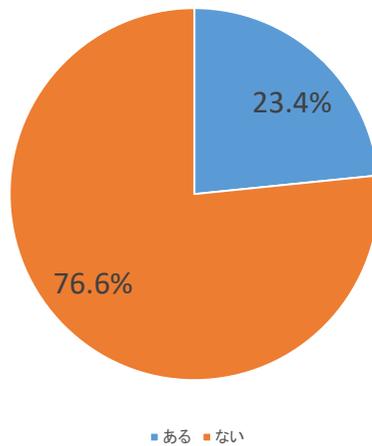
6

Q6 統括コーディネーターに個別に相談したいことはありますか。

令和5年度



令和6年度

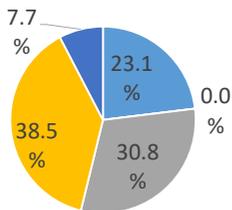


統括コーディネーターに相談したい地域コーディネーターは、約23.4%と昨年度とほぼ横ばいの結果であるが、設置当初に比べると統括コーディネーターの存在が認知されている。

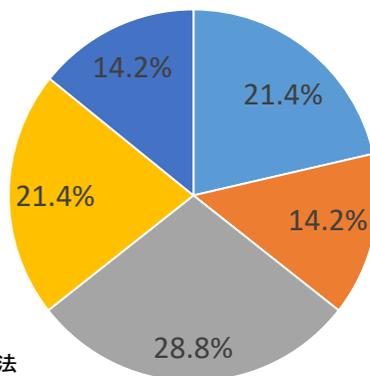
7

Q6-2 統括コーディネーターにどのような内容を相談したいですか。(複数回答可)

令和5年度



令和6年度



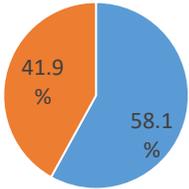
問5の活動にあたっての課題としても挙げられていた、③「学校との連携方法」④「次世代のコーディネーターの育成方法」について相談したいとする回答が多くみられた。

- ①新たな学校支援活動の開始方法
- ②他校の地域コーディネーターとの連携方法
- ③学校との連携方法
- ④次世代のコーディネーター育成方法
- ⑤その他

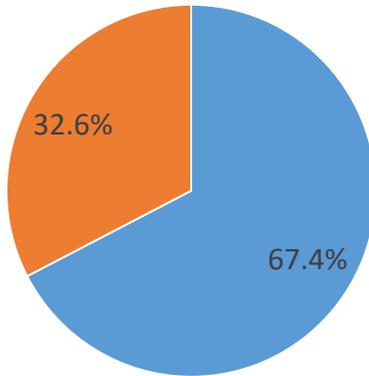
8

Q7 CS委員会は学校支援地域本部の活動に効果的な影響を与えていると思いますか。

令和5年度



令和6年度

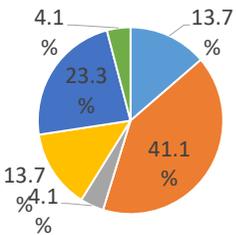


■ 思う ■ 思わない

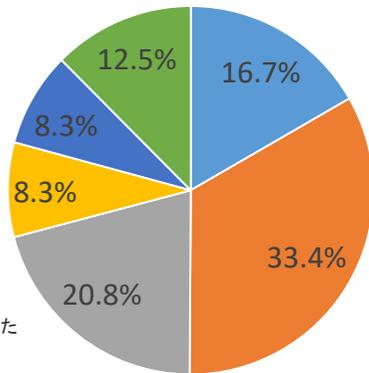
約67.4%の地域コーディネーターが、CS委員会が学校支援地域本部の活動に効果的な影響を与えていると回答し、昨年度に比べると約9.3%増加した。

Q7-2 CS委員会は学校支援地域本部の活動に効果的な影響を与えていると思いますか。上記の回答理由を選択してください。(複数回答可)

令和5年度



令和6年度



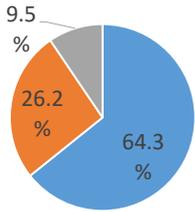
■ ① ■ ② ■ ③ ■ ④ ■ ⑤ ■ ⑥

- ①学校支援地域本部の知名度が上がった
- ②学校のニーズがわかりやすくなった
- ③ボランティアが集めやすくなった
- ④CS委員会との連携方法がわからない
- ⑤今までとの違いがわからない
- ⑥その他

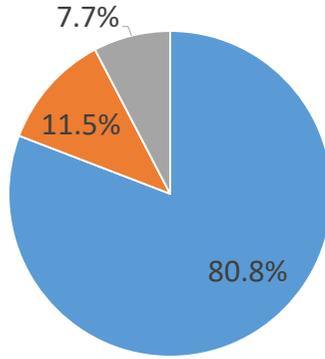
「学校のニーズがわかりやすくなった」や「ボランティアが集めやすくなった」とする回答が多く見られた。その他の意見の中には、「CS委員会での話が降りてこない」「CS委員会での熟議を受けて、学校支援地域本部の活動をしている」などの意見があった。

Q8 CS委員会で学校支援地域本部の活動について報告や相談をする機会がありますか。(CS委員に委嘱されている方のみ回答)

令和5年度



令和6年度



- 機会があり、報告等は地域コーディネーターが行っている
- 機会があり、報告等は学校が行っている
- 機会がない

CS委員会において、学校支援地域本部の活動を報告している委員会は、約92.3%であった。昨年度と比較して地域コーディネーターが報告するCS委員会も増えている。

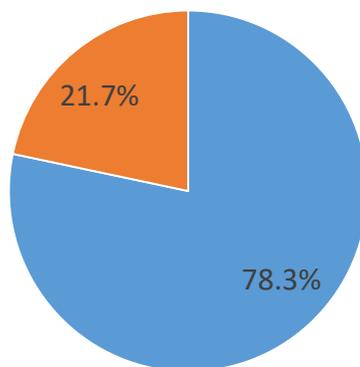
両輪・協働の関係として、多くの学校で活動報告を行っていることがわかる。

Q9 iCSに関する情報発信のため、「iCSレター」を年数回発行していますが、読んだことはありますか。

令和5年度

設問なし

令和6年度



- ある
- ない

約78.3%の委員が、読んだことがあると回答した。スマまちでの配信で読んでいる委員が多数だった。

内容については、iCSの仕組み・取組について、各CS委員会の好事例について参考になったという意見が多く寄せられた。

Q10 CS委員会や学校支援地域本部に関して、学校や教育委員会に対する要望・意見等がある場合はご記入ください。

主な意見の内容とそれに対する回答

| 意見 | 回答 |
|--|--|
| CSの話が地域コーディネーターまで降りてこないため学校の様子が分かりづらい。 | CS委員と地域コーディネーターを兼務している方が各校に1名はいる。CS委員会で話し合ったことを他のコーディネーターへ共有し、CS委員会で学校支援地域本部活動の報告は必ず行っていただきたい。 |
| 学校支援地域本部事業の予算が少ない、使いにくい。 | 予算については、より円滑に活動ができるような予算措置を検討していく。 |
| CS委員会の活動についての事例をもっと広く周知してほしい。他校の活動事例が見えてこない。 | CS委員会や学校支援地域本部の事例共有については、iCSレターや教育広報等を活用しているが、より一層の周知に努める。各種研修でも好事例の紹介を積極的に行っていく。 |